

リーディング DXスクール事業 【実践事例】

能美市立辰口中学校(石川県)【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成



情報活用能力を育成、特に情報モラルについて考えるために、本校では2つの取り組みを行った。

一つは学校保健委員会における取り組みである。例年、学校における健康に関する課題を研究協議を行っているが、今年度は「自分のメディアバランスを見つけよう」をテーマとして行った。子どもたちのメディアバランスのアンケートをもとに、生徒会の保健委員が発表を行い、来賓の講演、学校三師から助言をいただいた。生徒は教室からリモートで講演を聞き、時にCBをもって参加し、メディアとの上手な付き合い方などについて学ぶことができた。

もう一つは、ネット被害防犯教室である。オンラインで、通信会社の方を講師として、家庭におけるスマホ・携帯の安全な使用について、グループによるスキルワーク、講演をいただいた。一方的な講演ではなくスキルワークにおいては代表生徒が発表を行うなど、双方向からの意見交換を行い学びを進めた。

両方の活動を通じて、メディア機器の適切な使用や情報を正しく理解し、適切に判断・活用することについて学ぶことができた。